

オカムラホーム



今年3月に引き渡した第1号物件（写真）との内装は木を生かし、モダンなデザインにリノベーション

老朽住宅改修に力

分譲注文住宅を手掛けるオカムラホームは、千葉県八千代市、金栄保夫社長は老朽木造住宅の改修事業を展開する。伝統的な農家住宅や築年数が経過した木造アパートの改修事業の受注に力を入れ、2016年6月期に同事業の売上高を前年比1.5倍に伸ばす。自治体が老朽化した空き家の維持などを指導する制度が整備され、今後拡大が見込まれる老朽住宅の改修需要も取り込む。

風合い残し内装刷新

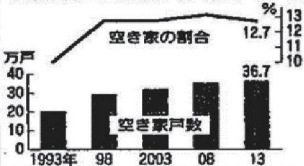
空き家対策
需要も開拓

同社改修専門プランとも司理だ。費用は改修ドワンテジ木3棟に上るが、おおむね300万〜2500万円。風合いを残しつつ、内装を刷新したり、耐震工事を施したりする。解体予定の木造物件の柱などの部材を改修に活用する。家主が強い愛着を持つ

伝統的な農家住宅の地り7〜10万円程度。ア合、全面的な建て替えに際み切れないケースも多いう。このため、農家住宅の雰囲気を生かしながら、家主のニーズに応じて新素材を導入したり、住居内の一部を刷新したりする。木造アパートについて、空室に順次改修する。木材を使った特色のある改修を売り物にする。費用は1平方メートル

10万円程度。ア合、全面的な建て替えに際み切れないケースも多いう。このため、農家住宅の雰囲気を生かしながら、家主のニーズに応じて新素材を導入したり、住居内の一部を刷新したりする。木造アパートについて、空室に順次改修する。木材を使った特色のある改修を売り物にする。費用は1平方メートル

千葉県内の空き家は増え続けている



(注)各年とも10月時点。総務省の住宅・土地統計調査を基に作成

空室家の割合
空室家戸数
1993年 98 2003 08 13
(注)各年とも10月時点。総務省の住宅・土地統計調査を基に作成

貸別借置法が全面施行。このため、老朽化した空室の改修需要も今後拡大する。オカムラホームは分譲、16年6月期の売上高は前年比20%増の48億円が主力で、16年6月期の売上高は39億5000万円となる見通し。改修事業の本格展開などを通じて、16年6月期の売上高は前年比20%増の48億円が主力で、16年6月期の売上高は39億5000万円となる見通し。